

## 第5回 全国ボッチャ選抜甲子園大会 実施方法

### <開催日時>

2021年1月20日（水）9:00～1月29日（金）18:00

### <実施方法>

社会状況を踏まえ、遠隔での実施とする（詳細は後述）

### <実施場所>

各学校のクラブ活動等で利用している体育館や学校施設とする

### <エントリー人数>

各校1チーム（3名+控え選手1名）とする

### <参加に対し必要なもの>

ボッチャにかかる道具（ボール、審判用具）

ボッチャコート

ビデオカメラ

タイマー

### <実施方法の詳細>

- ① 参加校は会場とする体育館にボッチャコートを作成する。
- ② 事前に作成している課題（4エンド分）を受け取り確認する（1月20日に実行委員会より配信）。
- ③ 参加メンバーは2, 4, 6ボックスに入り、青ボールを2球ずつ持つ。
- ④ 審判（教員）はジャックボールと赤ボールを1エンド目の課題位置に正確に配置する。
- ⑤ 1エンド目スタート（手持ちの青ボールを順に投球し、何点獲得できたかを記録する）。記録は動画撮影によるものとし、できるだけコートの全体像が確認できるような構図とする。（開始時の課題位置が分かるようにジャックボールの真上からの映像を最初に入れる。ゲーム中はエンドライン側からの撮影が望ましい）
- ⑥ 動画には原則としてタイマーと審判が写り込んでいることとする。次投球者は審判が提示するパドルを確認してから投球動作に入ることとする。
- ⑦ 1エンドの持ち時間は5分とし、エンド中はタイマーを止めない。エンド途中で何らかのペナルティがあった場合、そのエンドは無効とする。
- ⑧ 6球投げ終わった時点で、得点を確認する。その際のカメラの位置はできるだけ、ボールの真上から撮影するようにする。
- ⑨ 2～4エンド目④～⑧の手順を繰り返す  
※期間内であれば、何度チャレンジしても良いが、選手に過度な負担とならないように配慮する。エンドの途中での選手交代や、やり直しなどは認めない。

選手交代はエンド間に一度のみ認められる。スローイングボックスの交代は認めない。

- ⑩ 大会期間（1/20～1/29）終了までにエンドごとの動画データを指定のクラウドにアップロードする。その際のファイル名は「学校名（チーム名）○エンド」とする。また、動画は1球目の投球前から、6球目投球後、得点確認まで編集等を行わずに連続して撮影したものに限り。
- ⑪ 動画データとは別に共通の記録用紙に各エンドの得点、合計得点を入力したものを、実行委員会のメールアドレスに添付ファイルにて送信する。
- ⑫ 動画と得点記録を確認し、総合順位を決める。
  
- ⑬ 上位2～3校は3月6日（土）に決勝大会をオンラインにて開催する（詳細は後日）